

学校紹介
新聞

筑西市立 五所小学校



◆校長 野口 修
◆児童数 141人
◆創立 1904年
◆住所 筑西市山崎
1419番地1

各学級のいじめゼロ標語を発表



児童主体の活動



アイデア出し合い企画



五所小学校では、七つの委員会が活動しています。どの委員会も積極的にアイデアを出し合い、工夫しながら活動しています。今回は、その中から二つの委員会を紹介します。

集会委員会は、集会の企画・運営を担当しています。1年生を迎える会では、学校のことを1年生に紹介する〇×クイズを考えました。6月にはいじめゼロフォーラムを計画・実施しました。安心して生活できる学校を目指し、学級ごとに「いじめゼロ標語」を作成、発表しました。

放送委員会はお昼の放送に力を入れていて、クイズやリクエスト曲など、みんなが楽しめる企画を考えています。何より楽しみなのは、誕生日を迎えた人の紹介です。放送されると、みんなが拍手でお祝いしてくれるので学校中が温かい気持ちになります。(6年 高崎ほのか)

こんな学校です!



高学年が手本にパンジーの苗植え

みんな仲良し縦割り班



新井ななみ



矢野陽緒吏

私たちが通う五所小学校は、各学年1クラスずつの学校です。全学年が10班に分かれてさまざまな活動をする「縦割り班活動」を紹介します。

一つ目は、縦割り班クリーンタイムです。夏はポチュラカ、秋はパンジーを植えます。1～6年生で協力して苗植えをし、学校の花だんを色とりどりにしていま

す。校庭に出ると、花の成長が感じられてうれしいです。二つ目は、縦割り班清掃です。上の学年の子が、下の学年の子にそうじの仕方を教えたり、手伝ったりします。みんなの力で学校をすみずみまで、きれいにします。

三つ目は、学期に2回ずつ実施している縦割り班遊びです。内容は、6年生が中心になって決めます。班全員が楽しめることを考え、鬼ごっこやドッジボールなどを楽します。五所小学校は、1年生から6年生の仲がとていい学校です。(6年 新井ななみ、矢野陽緒吏)



はがき新聞で興味あることを発信

NIE 教育に新聞を

はがき新聞にまとめる



五所小学校では、NIE(教育に新聞を)に取り組んでいます。2階廊下には、NIEコーナーがあり、毎日届く新聞を楽しみに集まり、熱心に記事を読む姿が見られます。また、各教室にもNIEコーナーがあり、クラスみんなで読みたい記事を掲示しています。

力を入れているのが、「はがき新聞」づくりです。授業で興味をもったことや、調べてわかったことを記事にしてまとめ、読み手を引きつける見出しを付けます。初めは、「大変かな?」と思いましたが、何度か作成するうち、楽しみになってきました。私が興味をもっている草花の記事にしたときは、「きれいで美しい花もあれば、毒をもつ危険な花もある」ということをまとめました。私は、この活動を通して、世の中の出来事に目を向けていきたいです。(6年 國府田奈々)

地域との交流



公民館で自信作を展示

公民館で展示、固い絆



私たちの五所小学校のとなりに五所公民館があり、地域の人たちと児童との関わりがとても深いです。五所公民館では、地域の人たちの作品と一緒に児童の作品が展示されます。毎年11月に開催される作品展では、図工、書写、家庭科など、授業で作った中で一番気に入った作品を全児童が1点ずつ出品します。

昨年、私は工作を展示しました。地域の人たちに作品を見てもらえて、うれしい気持ちになりました。地域の方々は、とても学校に協力的です。授業のゲストティーチャー、校庭の整備、登下校の見守りなどをしてくれます。本年度は、地域の社会福祉施設の方々との交流を再開することになっています。私たちは、とても優しい地域の方々大好きです。そして、五所小学校と五所公民館は固い絆で結ばれているのです。(6年 齊藤蘭)

次回は7月12日 神栖市立神栖第四中学校です

茨城新聞 第14回 新聞感想文コンクール

新聞を読んで感じたこと
あなたの言葉で書いてみよう



応募資格
小中学校や高校に在学する児童・生徒。
小学1～3年、小学4～6年、中学生、高校生の4部門

応募課題
2023年1月以降に載った新聞記事を読んだ感想。
小学1～3年生は家族に記事を読んでもらい、感想を作文にしたものも結構です。
※著作権は茨城新聞社に帰属します。作品の返却はしません。

応募方法
①学校単位でも個人でも応募可能(未発表作品1人1点に限る)
②募集要項チラシ裏面の専用の原稿用紙(コピー可)か、市販のB4版400字詰め原稿用紙を使用してください。
③専用の原稿用紙の場合は、記入欄に必要な事項を書くこと。
市販の原稿用紙の場合は、1ページ目の1行目に題名、2行目に学校名、学年、3行目に氏名(ふりがな)、4行目に新聞名と掲載日を記入し、5行目から書き始めてください。作品の最後に住所、電話番号、保護者氏名を記入してください。
④原稿用紙と同じ大きさ(B4)の紙に、読んだ記事(コピー可)を貼り、原稿とセットして送付する。
⑤小学1～3年生は400～600字、小学4～6年生は600～800字、中学生、高校生は800～1200字。
⑥学校単位で申し込む際は、学校名と応募児童・生徒の名簿(漢字・ふりがな)、担当教諭名、連絡先を添付してください(体裁自由)。

応募先
〒310-8686 水戸市笠原町978-25
茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係

応募締切
2023年11月6日(必着)

表彰
①文部科学大臣賞、知事賞、県教育長賞、茨城新聞社長賞、茨城会長賞など。
②上位入賞者は、2023年12月、茨城新聞の紙面で発表します。
③表彰式は、2024年2月3日(水)に水戸市内で開催予定です。

ご自宅で新聞を購読されていない方は茨城新聞を7日間無料お試し読みできます。
お申し込みは ☎0120-029-218

主催:茨城新聞社、茨城新聞茨城会 ■後援:文部科学省、茨城県、茨城県教育委員会
協力:県新聞教育研究会、県教育研究会、県学校長会、県高等学校長協会、県PTA連絡協議会、県高等学校PTA連合会、県私学協会

お問い合わせ

茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係
TEL029(239)3030 平日9:00～17:00

お申し込み ☎0120-029-218

